

平成28年度 病床機能報告結果 急性期の度合いを測定し得る項目の集計結果(急性期指標) 宮城県

●急性期指標とは

病床機能報告等の項目から、「主たる診療分野が急性期であるような病院」が満たしそうな項目を選び、病床数等で補正して集計し、「急性期医療の度合い」を病院ごとの数値で示したもの。(平成27年度厚生労働省科学研究)

特性1 病院が有する各指標を集約し、「急性期を主体とした医療を行っている度合い」を見える化

特性2 全国平均(1.0)と比較してどの程度大きいか／小さいかを直感的に把握できる

特性3 研究過程のヒアリングで、地域の関係者の感覚的な「急性期の度合い」と概ね傾向が一致している

●注意点

- ・「優れた病院ランキング」としては使えない(個々の医療の結果は考慮されていない)。
- ・病棟単位ではなく病院単位で集計されるため、ケアミックスの病院では実態より低いスコアが出る事が分かっている。
- ・特定のスコアで切り、それ以上の病院を高度急性期、それ未満を急性期・・・といった切り分けは想定されていない。
- ・病院からの報告ミスがあった場合、実態と異なる値が算出されてしまう。
- ・指標を逆から見ても「慢性期指標」にはならない。

急性期指標の作成方法

全体の流れ



